

私の視点

siten@asahi.com

ほらまさ
方正友好交流の会事務局長
おおるい
大類 よしひろ
善啓



◆日中友好

日本人公墓を知っていますか

今年は日中両国が国交を正常化して35年になる。記念すべき年といふことで、両国ではさまざまな交流行事が行われている。お互いに胸襟を開いて語り、知り合い、今まで抱いていた悪い固定したイメージが、水解する話を聞くのはうれしい。

しかし先の戦争で亡くなつた残留婦人や孤児などおよそ5千人といわれる死者たちを葬る日本人公墓が、旧満州の地、黒竜江省ハル

ビン市郊外の方正原に建立されていることを知る人はまだ少ない。

ビン市郊外の方正原に建立されることは日本公墓の建立が許可された。中国で

まだ日本の侵略に対する恨みが衰えていない1963年、日中が国交を回復す

る10年ほど前のことである。

一部の日本軍国主義者と日本の人民を区別す

る」という新中國の方針に基づいた、階級的觀點から

中国に存在する唯一の日本公墓である。66年から

本公墓を建設してくれたのは、中国に、われらの日中関係の

3・3旅の石碑は、2日が

かりで、ハルビンから方正

県まで運ばれた。まだ貧し

かった中国だが、それでも大金を投じて日本人公墓を

建立してくれたのだ。

中国に存在する唯一の日本公墓を破壊しようとした。

日本公墓を維持管理してい

た。しかし黒竜江省政府は、「これは日本軍の墓で

はない。日本の庶民の墓で

ある。彼らに罪はない」と

は、何とかして骨を拾つ

ら、一番大きく一番きれいなイタリア製の花崗岩を探

から、「残留婦人の帰國が

し出し、優れた書家に「方正地区日本人公墓」という

碑銘を刻んでもらつた高さ

が一番多い方正原に対して

何かできないか」とかねやかに活動してきた。その過程で知った日本人公墓は、中国通と呼ばれる人々にも

知らないことに驚いた。

日本公墓で届折したナン

スなどによつてこの方正の地に廃絶えた。

それから数年、累々たる白骨の山を見たある残留婦

人は、何とかして骨を拾つ

て埋葬したいと願つた。そ

の願いは県政府から省政府

を経て中央政府へ、最終的

に、我々は何ができる

のか。国交正常化35年の今、改めて問われているの

ではないだろうか。

私たちの会は15年ほど前

投稿は、〒104-80

1-1朝日新聞社・主張面

「私の視点」かsiten@asahi.comへ。電子メディアにも収録します。